

安佐南工場建替事業に係る準備書への質問等について

1 第1回審査会での質問事項

該当部分	質問の概要	事業者からの回答
第7章 調査結果の概要並びに予測及び評価の結果		
準備書 p.7.1.1-31	大気質の予測手法については、現行の施設(200t/日)の排出ガス諸元により再現性を検証し、予測手法の信頼性、妥当性を明らかにするべきではないのか。(吉國副会長)	今回の予測手法については、周辺環境測定値により風の場について再現性の検証を行っており 風向別出現頻度、風向別平均風速及び大気安定度は、気象観測結果を概ね再現できていると考えています。 (資料2) 準備書に記載した以外の予測として、今回の予測手法を用いて現行施設(200t/日)の排出ガス諸元での予測を追加するとともに、大気質の予測で一般的に用いられているブルーム・パフ式を用いた新施設(400t/日)での予測も行い、今回の予測手法の検証を行いました。 (資料3)
準備書 p.7.1.1-67	大気質の予測結果に示されている短期的予測のうち、一般高濃度は、年間に何回くらい出現するのか。(宮田委員)	一般的に高濃度が予想される大気安定度が不安定(A、A-B、B)で、かつ風の弱い(1.0m/s以下)気象条件が出現する頻度は2.2%(5回/224回)で、上層に逆転層が出現する頻度は8.0%(18回/224回)でした。

2 文書での意見

該当部分	意見の概要
第7章 調査結果の概要並びに予測及び評価の結果	
準備書 p.7.3.1-13	建物の色彩については、自由度が高いと思われるので、住民の意見を充分に取り入れる旨、評価書に明記して頂きたい。(中島委員)